

日本短角種産肉能力検定（現場後代検定法）成績

【目的と成果概要】

日本短角種直接検定で選抜された牛の産子を肥育し、枝肉成績を調査することで、種雄牛の産肉能力を推定し、優秀な種雄牛の積極的な利用を推進します。

- 平成 25 年度現場検定開始牛の検定成績は表のとおりです。
- 検定成績や、畜産研究所で算出した産肉能力育種価評価の結果、「福春」号が枝肉重量や歩留を総合的に改良する指数値等で優れ、今後、改良への積極的な利用が期待されます（図）。

表 現場後代検定牛の検定成績

名号	良富		松笹良		福来		福春		松風		一般出荷 (検定肥育牛と同期のもの)		
生年月日	H22. 2. 17		H22. 3. 8		H22. 3. 8		H22. 3. 13		H22. 3. 17				
産地	岩泉町		二戸市		岩泉町		久慈市		釜石市				
供用地	久慈市		岩泉町		二戸市		岩泉町		久慈市				
1代祖	勝富		笹良		松富		玉吉		福藤				
2代祖	福藤		松錦		福藤		藤幸		豊久				
直検DG	1.55		1.49		1.38		1.30		1.36				
調査牛頭数(頭)	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	去勢	雌	
	12	7	13	5	13	7	13	5	8	8	266	281	
枝肉重量(kg)	423	411	456	464	429	428	449	467	473	390	434	438	
ロース芯面積(cm ²)	46.8	42.1	51.5	50.2	46.1	52.6	53.5	55.2	50.4	46.4	49.3	49.4	
バラ厚(cm)	6.9	7.0	7.0	7.6	7.1	7.2	6.7	7.1	7.6	6.9	6.9	7.0	
皮下脂肪厚(cm)	2.9	4.0	2.9	3.0	3.5	3.6	2.5	3.1	3.1	2.4	2.7	3.1	
歩留基準値	72.3	70.9	72.5	72.5	71.6	72.6	73.0	72.7	72.4	73.1	72.6	72.3	
BMS(No.)	2.1	2.0	2.0	2.0	2.1	2.0	2.0	2.2	2.0	2.0	2.0	2.0	
格付	A2	7	1	9	4	4	5	11	4	3	6	-	-
頭数	B2	5	6	4	1	9	2	2	1	5	2	-	-
歩留等級A割合(%)	58.3	14.3	69.2	80.0	30.8	71.4	84.6	80.0	37.5	75.0	67.3	58.7	

※ 網掛けは一般出荷牛より優れる形質を示す。

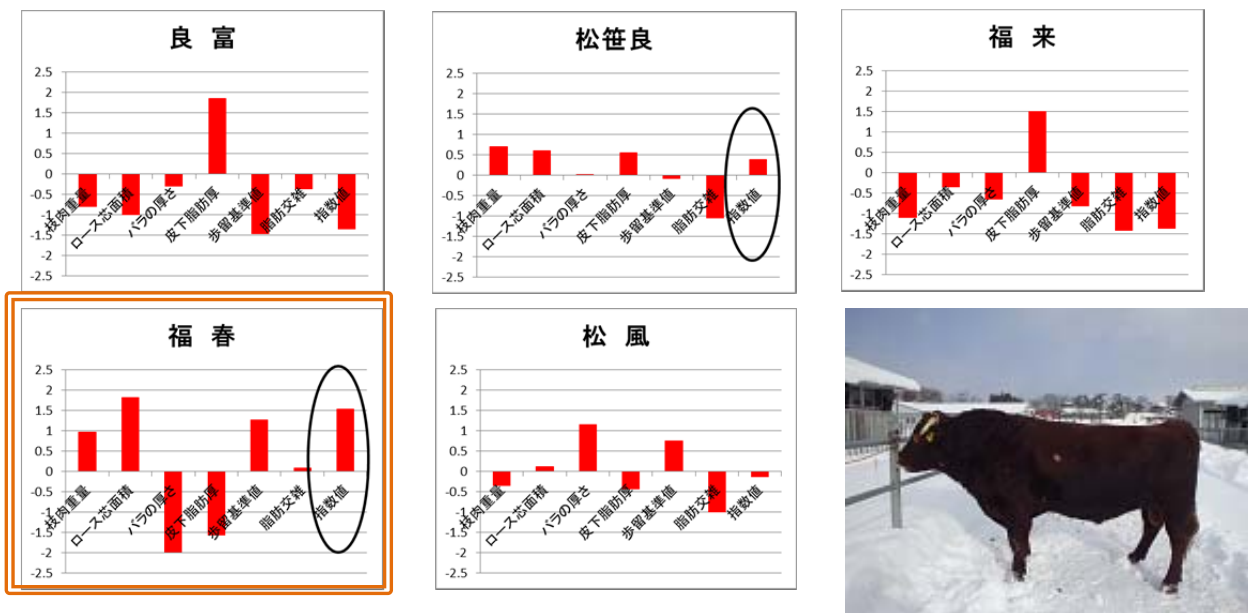


図 検定牛の各枝肉形質育種価
(供用中かつ産子の肥育成績のある種雄牛 24 頭の平均に対する増減で表記)



【畜産研究所で繁養中の日本短角種種雄牛】